

激を手紙に綴り芹沢氏に送った。すると、程なくして芹沢氏から返事が届いた。

「御手紙拝見しました。どうい  
う方向を望まれるか、一度おでか  
けください。小生も若い頃、図案  
を志し中途染色に入り、今日染色  
を脱しつつあります。」

芹沢氏75歳、高田さん23歳。内弟  
子として身の回りのことをする  
ことになった。

「弟子の中で一番若かったから  
か、先生の骨董品や筆筒や机など  
の古い道具なんかを塗ったり、磨  
いたり、直したり。あとは雑用を  
したり。染めの仕事とはあまり関  
係がないことを何年もやってい  
ました。」

お話を聞いた二間続きの作業場  
にも、手入れの行き届いた筆筒や  
机が置かれていた。

「当時は染めの仕事を早く教えて  
くれないかな、と思っていただけ  
すけれど、後々雑用から学んだ先  
生の感性がとてまかけがえのな  
いものになりました。」

フランスやアメリカなどの海  
外へも助手として同行し、長年修  
行を積んだ後、33歳で独立してこ  
こ湯河原に工房を構えた。

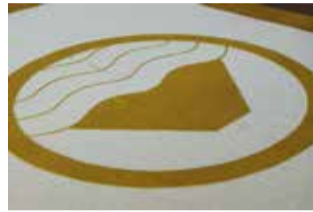
型染とは、型紙を使って色染め  
をする方法で、主に布や和紙の上  
に文様を彫った型紙をのせ、全体



高田さんを紹介してくれた通販部監修の「器・生活道具 日和」店主の高田さん。名字が一緒なのは偶然で、取材中に高田さんの奥様となにやら世間話(ややこしくすみません)。



作業場の中もひとつひとつ高田さんのセンスで集められたものが置かれている。外からの光が自然と室内に柔らかく広がる、きれいな光がある空間。この部屋自体も高田さんの作品に感じられるほど素敵な佇まい。



高田さんがやっている、とても柔らかさそうに見える糊だが、実は非常に硬くて、素早く均一にのばしていくのは至難の技。糊の段階で、すでにこの美しさ。



『型染工房たかだ』 神奈川県足柄下郡湯河原町吉浜1902-36 ☎0465-62-8020



上/工房に飾られた、師匠・芹沢銈介氏との写真。下/弟子入りのきっかけになった返事のハガキは今でも大切に額に入れてある。

に防染糊を塗り染色する。糊をおいたところだけが白地となり、他は一樣に染色がされる。その後、煮沸や蒸すなどの処理を経て、清水でよく洗い干しあげて仕上げ

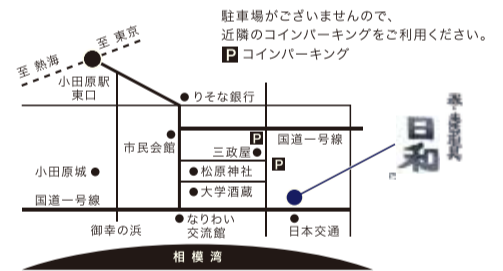
富士山が好きな高田さん。様々な柄がある中でも富士山柄の暖簾は年々図案が増え、今では約20種類を数える。沢山の下書きから、暖簾にするものを選び、突き詰める。余計なものを削ぎ落とし、単純化された形と色は、とても力強く美しい。どの富士山も素晴らしく、かっこ好い。

「やってみましょうか。」  
数ある型染の行程の中の『糊置き』の行程を特別に見せてくれた。白いところがいかに染まっていなにか、ということがとても大切なんだそう。

「細かいデザインよりも、ラインがきれいにできる単純なデザインの方が難しい。」  
さっさと、素早い手つきで置いた糊の厚さを均一にのばす。精密な作業に、思わず息を止めて見入ってしまった。

## 高田正彦さんの「型染め富士山のれん」 期間限定 展示受注会 表情豊かな 様々な富士山の型が揃います

期間：2015年6月6日(土)～6月28日(日) \*月曜・第3日曜定休  
場所：「器・生活道具 日和」



器・生活道具 日和 小田原市浜町3-1-22(かまぼこ通り)  
営業時間/11:00～17:30 木曜定休(仕入れにより不定休あり)  
電話番号/0465-22-0226 http://hiyorijp.com

貴重な「富士山のれん」のサンプルを数型お借りして、展示いたします。その他に、型染めの小品等も並びます。

\*のれんの幅は間口に合わせて調整が可能です。ご注文時にご相談ください。  
\*ご注文後、7月から制作を開始し、約一ヶ月後のお届けとなります。  
(天候により納期がずれる場合がございます。)  
\*期間中の営業時間やお休みは、日和さんのブログをご参考ください。  
\*期間中は通販部ホームページからもご注文いただけます。http://otonarisan.theshop.jp/



広報おだわらと一緒に配布の  
自治会配布型の  
フリーマガジンだから、  
お隣の奥様も、きつと読んでます。  
次号は8月1日発行。

# 「おとなりさん」なら 小田原市内のお隣さんに 届きます。

\*自治会加入世帯(=小田原市の総世帯数の約8割、約6万6300世帯)を自治会配布によりカバーしています。

facebook おとなりさん

広告料金、お申し込み等  
詳細はコチラから  
www.otonarisan.info